

長野短期大学教職課程
【幼稚園教諭二種免許】
履修カルテ

所 属	幼児教育学科
学籍番号	
フリガナ	
氏 名	
在籍期間	年 4 月入学 年 3 月卒業（予定）

履修カルテについて

【目的】

履修カルテは、教職課程(幼稚園教諭二種免許)を履修している学生の学習状況をきめ細かく把握し、養成上、指導者が教職課程の学生を支援するためのものです。

【作成時期】

教職課程履修1年目から教員免許取得時までバインダー方式により、継続して作成します。

【内容】

「1. 教職に必要な科目の履修状況」、「2-1. ボランティア経験等の状況」、「2-2. 教育実習に関すること」、「3. 自己評価シート」により構成されています。

【作成の手順】

- ①大学HPから教職課程の様式(Word形式; A4版)をダウンロードします。
- ②必要事項を記入します。
- ③学期ごとに、履修状況を記入します。
(P. 3の次に前期ガイダンス時に配付される成績通知書を綴じ込んでください。)
- ④学年ごとに、自己評価シートの記入を行います。
- ⑤欄が足りなくなった場合は、各自、適宜に欄を増やすなどして使用してください。
- ⑥各自、教職実践演習用の指定されたファイル<紙製フラットファイル, A4サイズ, タテ型>に、履修カルテ及び必要な書類を綴じ込みます。

【提出時期】

- ①1回目・・・「教育実習指導」の初回授業時に提出します。
教員が内容を確認し、返却します。
- ②2回目・・・「保育・教職実践演習(幼稚園)」の初回授業時に再度提出し、成績判定後、返却します。

【注意事項】

・履修カルテの提出がない場合、「教育実習」及び「保育・教職実践演習(幼稚園)」の履修は認められませんので、十分注意してください。

・欄が足りない場合は、適宜、欄を増やして記入してください。

履修カルテ記入の仕方

1. 「教職に必要な科目の履修状況」について

履修した科目について「修得年度」、「教員名」、「成績評価」、「学んだこと」を記入します。成績評価がまだ出ていない場合は「履修中」と記します。単位の未修得科目を記入する必要はありません。

1. 教職に必要な科目の履修状況

(記入例)

法令上の 区分	科目名	単位数	修得 年度	教員名	成績 評価	学んだこと	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2	RO	〇〇〇〇	優	○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○……	必修

※ 「教職に関する科目」の「学んだこと」欄は100字程度に要約して記入すること。

2—1. 「ボランティア経験等の状況」

ボランティア経験等の状況と活動内容を記入します。

2-2. 「教育実習に関する事」について

実習予定園が決まった段階で実習園名などを可能な範囲で記入します。教育実習が終わった段階で、「教育実習で学んだこと、新たに自己の課題として感じられたこと」をまとめます。
「教育実習指導担当者によるコメント記載欄」には記入しないこと。

3. 「自己評価シート」について

各学年が終了する段階で、その学年での教職に関する学習過程について自己評価を行い、該当する数字を記入します。１年次終了時、２年次終了時に自己評価を行います。

1. 教職に必要な科目の履修状況（1-1：領域及び保育内容の指導法に関する科目）

法令上の 区分	科目名	単 位 数	修得 年度	教員名	成 績 評 価	学んだこと	備考
領域に関 する専門的 事項	幼児と健康	1					必修
	幼児と人間関係	1					必修
	幼児と環境	1					必修
	幼児と言葉	1					必修
	幼児と表現 (音楽表現)	1					必修
	幼児と表現 (造形表現)	1					必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

1. 教職に必要な科目の履修状況 (1-1: 領域及び保育内容の指導法に関する科目)

法令上の 区分	科目名	単 位 数	修得 年度	教員名	成 績 評 価	学んだこと	備考
保育内容 の指導法 (情報機器 及び教材 の活用を 含む。)	保育内容総論	1					必修
	保育内容指導法 (健康)	1					必修
	保育内容指導法 (人間関係)	1					必修
	保育内容指導法 (環境)	1					必修
	保育内容指導法 (言葉)	1					必修
	保育内容指導法 (音楽表現)	1					必修
	保育内容指導法 (造形表現)	1					必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

1. 教職に必要な科目の履修状況（1-2：教育の基礎的理解に関する科目）

法令上の 区分	科目名	単 位 数	修 得 年 度	教員名	成 績 評 価	学んだこと	備考
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2					必修
教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校への対応を含む。）	保育者論	2					必修
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	1					必修
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2					必修
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育・保育論Ⅰ	1					必修
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	保育・教育課程論	2					必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

1. 教職に必要な科目の履修状況

(1-3: 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)

法令上の 区分	科目名	単 位 数	修得 年度	教員名	成績 評価	学んだこと	備考
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	1					必修
幼児理解の理論及び方法	幼児理解	1					必修
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)理論及び方法	教育相談	2					必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

1. 教職に必要な科目の履修状況 (1-4: 教育実践に関する科目)

法令上の 区分	科目名	単 位 数	修得 年度	教員名	成績 評価	学んだこと	備考
教育実習	教育実習指導	1					必修
	教育実習	4					必修
教職実践 演習	保育・教職実践 演習(幼稚園)	2					必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

1. 教職に必要な科目の履修状況（1-5：大学が独自に設定する科目）

法令上の 区分	科目名	単 位 数	修 得 年 度	教 員 名	成 績 評 価	学んだこと	備 考
大学が独 自に設 定す る科 目 （新 設 科 目）	幼児と運動	1					必修
	幼児と音楽	1					必修
	幼児と造形	1					必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

1. 教職に必要な科目の履修状況（1-6：教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目）

法令上の 区分	科目名	単 位 数	修得 年度	教員名	成績 評価	学んだこと	備考
日本国 憲法	日本国憲法	2					必修
体育	健康と運動Ⅰ	1					必修
	健康と運動Ⅱ	1					
外国語コ ミュケー ション	英語表現Ⅰ （基礎）	1					必修
	英語表現Ⅱ （応用）	1					必修
情報機器 の操作	情報処理演習Ⅰ	1					必修
	情報処理演習Ⅱ	1					必修

※履修しなかった科目は記入しなくてよい。

2-2. 教育実習に関すること

(実習予定園)

実習園名	所在地	実習期間	備 考

(教育実習で学んだこと, 新たに自己の課題として感じられたこと)

教職実践演習(幼)担当者によるコメント記載欄

必要な資質能力の指標				自己評価	
項 目	項 目	指 標	H18 答申との対応	1 年次 終了時	2 年次 終了時
学校教育につ いての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	使命感や責任 感、教育的愛情	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教職の意義	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	使命感や責任 感、教育的愛情	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	学校教育の社会的・ 制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	使命感や責任 感、教育的愛情	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
子どもについ ての理解	心理・発達論的な子 ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。	生徒理解や学級 経営	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	生活集団の形成	生活集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	生徒理解や学級 経営	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもの状況に応じ た対応	不登園、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解して いますか。	生徒理解や学級 経営	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	社会性や対人関 係能力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保護者・地域との連 携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	社会性や対人関 係能力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。	社会性や対人関 係能力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	社会性や対人関 係能力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つたり、与えられた役割をきちんとこなしたりするこ とができますか。	社会性や対人関 係能力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
コミュニケーション	発達段階に対応した コミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	社会性や対人関 係能力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができ ますか。	生徒理解や学級 経営	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5

	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	生徒理解や学級経営	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。	社会性や対人関係能力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	5 領域	これまで履修した 5 領域のねらいと内容について理解していますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	幼稚園教育要領	幼稚園教育要領の内容を理解していますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育課程の構成に関する基礎	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	幼児教育指導法	幼児教育指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
教育実践 課題探求	実習の各段階の理解と実践力	見学実習、観察実習、参加実習、責任実習、部分実習、全日実習の目的と内容、方法を理解し、実践することができますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保育分析能力	子どもの生活と保育のねらい、内容と方法を分析しながら実習日誌をまとめることができますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保育構想力	子どもの姿や予想される子どもの生活をイメージしながら保育活動を構想し、週案、日案を作成することができますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教材開発力	保育活動を展開するための教材・資料を開発・作成することができますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保育展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	表現技術	的確な話し方を含め、保育活動を行う上で必要な表現の技術を見に付けていますか。	教科の指導力	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	学級経営力	子どもとの間に信頼関係を築き、子どもの特性や心身の状況を理解して、学級集団をまとめて運営していくことができますか。	生徒理解や学級経営	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
課題探求	課題認識と探求力	自己の課題を認識し、その解決に向けて、学び続ける姿勢を持っていますか。	生徒理解や学級経営	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育時事問題	幼稚園教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりの意見を持つ事ができていますか。	生徒理解や学級経営	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5

(2)教職を目指す上で課題と考えている事項